

タイトル!! 『汐製菓会社の新作 46
羊羹』

登場人物

- 汐（30代）…汐製菓会社社長。奇抜なアイデアで商品開発を進める快活な人物。
- 塩田（30代）…汐の秘書であり、心配性。甘いものに目がない。
- 社員 A：製造部の社員。無口だが内心では汐のアイデアに疑問を持っている。
- 社員 B：広報担当。汐の大胆なアイデアにいつもヒヤヒヤしている。
- お客 Y（国内）…羊羹好きの和菓子マニア。
- お客 B（外国）…旅行中の外国人。スイーツ好きで日本文化に興味津々。

- お客C（外国）：SNSインフルエンサー。
何でも試してSNSで紹介する。
 - お客D（国内）：和菓子にこだわる老舗
の和菓子店主。
-

あらすじ

第一幕：アイデアの爆誕

（場面：汐製菓会社の社長室。デスクには羊羹のサンプルが並んでいる）

汐：（思案にふけりながら）「普通の羊羹じゃ、この世の中で埋もれてしまう…。もっと、世界を驚かせる味が必要だ！」

塩田：（困惑した表情で）「またですか、社長。前回の“カレー味のどら焼き”も失敗したばかりなのに…。今度は何を考えてるんですか？」

汐…（突如目を輝かせ）「羊羹だ、塩田！グリーンカレー味の羊羹を作るんだ！」

塩田…（絶句して）「…グ、グリーンカレーですか！？それって…羊羹じゃなくてカレーじゃないですか！？」

汐…「いやいや、甘さとスパイシーさの融合だ！インパクト勝負だよ！」

塩田…（内心で呆れつつ）「インパクトだけで成功した商品なんて…」

第二幕…試作開始と社内の反応

（場面…汐製菓会社のキッチン。社員たちが集まり、汐の指示のもと試作を始める）

社員A…（羊羹の材料を見つめながら）「社

長…本当にこれにカレーを入れるんですか？」

汐…（笑いながら）「もちろんだ！辛さと甘さが完璧に調和する！」

社員 田…（不安げに）「広報としては、世間の反応がちょっと心配です…。これが爆発的にヒットするか、それとも大炎上か…」

塩田…（小声で）「どつちに転んでも大騒ぎですわね…」

（試作品が完成し、キッチンに漂うカレーの香りに社員たちは戸惑う）

汐…「よし、これが新しい時代の羊羹だ！名前は…“グリーンカレー羊羹”！」

第三幕…テスト試食会

（場面…汐製菓の会議室。試食会には国内
外の取引先や関係者が参加）

塩田…（恐る恐る参加者たちに向かって）「皆さん、本日は新商品の試食会にお越しいたいただきありがとうございます。こちらが…“グリーンカレー羊羹”です。ぜひ、お試しください！」

（会場内にざわめきが広がる）

お客A（国内）…「羊羹は和菓子の中でも繊細なものなのに、なぜカレーを…？」

お客B（外国）…「カレーとスイーツを組み合わせるなんて、日本人は本当にクリエイティブだな！」

お客C（外国）…「これ絶対SNSでバズるわ！よし、動画撮ろう！」

（お客Cが試食しながらSNSで動画配信を始める）

お客D…「みなさん見て！日本の羊羹だけでなく、なんとグリーンカレー味！一口目は…お

お、スパイシー！でも、甘さもあって、これはクセになる！」

第四幕：SNSでのバズりと国際的な反響

（場面：オフィスの一角。塩田がパソコンを見ながら慌てている）

塩田：「社長！海外のSNSで“グリーンカレー羊羹”が大反響です！『日本の次世代スイーツ』って言われてますよ！」

汐：（にやりと笑って）「ほらな！俺の直感に間違いはない！」

塩田：「でも…国内の和菓子ファンからはかなり厳しい意見も…。『これは和菓子への冒涇だ！』なんて声もあります」

汐：「反応があること自体が成功の証だ。ネガティブでも話題になれば勝ちなんだよ！」

第五幕：試食イベントと多国籍な反応

（場面：都内のデパート、試食イベント会場。
多くの人が並んでいる）

お客A（国内）：「興味はあるけど…やっぱり
羊羹は甘いものでしょ…」

お客B（外国）：「グリーンカレー味の和菓
子？斬新すぎる！絶対に試してみたい！」

お客C（外国）：「辛いのが好きだから楽し
み！カレー味のスイーツなんて初めてだ！」

お客D（国内）：「私は老舗の和菓子屋だけ
ど、これは正直…許せない。でも、ちょっとだけ
味見を…」

（次々と人々が試食する。リアクションは様々
だが、一部は驚きながらも「意外と美味し
い」と好評）

お客A：「最初は疑ったけど、これクセになるかも……。カレーの風味が口の中でじんわり広がる！」

お客B：「これはインターナショナルに売れる味だ！絶対に！」

第六幕：海外メディアとテレビ出演

（場面：テレビ局のスタジオ。汐がゲスト出演し、インタビューを受ける）

司会者：「今話題の“グリーンカレー羊羹”ですが、社長はなぜこんな奇抜なアイデアを？」

汐：「やっぱり、和菓子も進化が必要だと思っただけです。常識に囚われず、何ができるか挑戦したくて。結果、国際的にも注目されて嬉しいですね。」

(スタジオに笑いが起きる)

司会者：「確かに、インターネットでもすごく話題ですよ！でも、日本国内の反応はどうですか？」

汐：「まあ、伝統的な味を大切にする方も多いので、賛否両論ありますね。でも、これが新しい風を吹き込むきっかけになると思っています。」

第七幕：最終決戦！和菓子会の重鎮との対立

(場面：老舗の和菓子店「桜菓子本舗」の店主、お客Dとの対話)

お客D：「汐さん、あなたの“グリーンカレー羊羹”が話題になっているが、正直和菓子の精神を理解していないのでは？」

汐：「お客さん、和菓子だって進化が必要で
す。味の冒険をしなければ、新しい時代に取り
残されますよ！」

お客ロ：「確かに、それは一理ある。だが、和
の伝統も大切にすべきだ。次回はもっと伝
統に寄り添ったアイデアを期待しているよ。」

汐：「もちろん、次は“抹茶納豆プリン”を考
えています！」

お客ロ：「…それは絶対にやめろ！」

終幕

（グリーンカレー羊羹が大ヒットし、国内外で
売れ行き好調。次回作に向けて汐の挑戦は
続く…）

（音楽と共にエンドロール）